

独立役員届出書

1. 基本情報

会社名	株式会社富士通ゼネラル			コード	6755
提出日	2023/6/6	異動（予定）日	2023/6/28		
独立役員届出書の提出理由	定時株主総会に社外役員の選任議案が付議されるため。				
☐独立役員の資格を充たす者を全て独立役員に指定している（※1）					

2. 独立役員・社外役員の独立性に関する事項

番号	氏名	社外取締役／社外監査役	独立役員	役員の属性（※2・3）													異動内容	本人の同意
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	該当なし		
1	酒巻 久	社外取締役	○										△				訂正・変更	有
2	寺坂 史明	社外取締役	○													○	訂正・変更	有
3	桑山三恵子	社外取締役	○													○	訂正・変更	有
4	前原 修身	社外取締役	○	△													訂正・変更	有
5	窪田 隆一	社外取締役										○	○				新任	
6	井上 彰	社外監査役	○							△							訂正・変更	有
7	広瀬 陽一	社外監査役										△	△				訂正・変更	

3. 独立役員の属性・選任理由の説明

番号	該当状況についての説明（※4）	選任の理由（※5）
1	酒巻久氏が代表取締役会長を務めるキヤノン電子㈱と当社との間に過去において営業取引関係がありましたが、2022年度においては取引関係はありません。	酒巻久氏は、当社との間に、社外取締役の報酬以外、いかなる金銭等の取引もなく、当社経営陣との間においても特別な利害関係を有していないため、一般株主との利益相反が生じる恐れはないと判断し、独立役員に指定しております。 同氏はキヤノン電子㈱の代表取締役会長であり、企業経営に加え、電子機器に関する技術・生産・購買などの専門知識や豊富な経験および知見を有しています。これらの経験および知見に基づき、社外の立場から適切な助言・意見を述べるとともに、任意の指名委員会および報酬委員会の委員としての役割も含め、経営の監督機能を適切に果たしていただいております。
2		寺坂史明氏は、当社との間に、社外取締役の報酬以外、いかなる金銭等の取引もなく、当社経営陣との間においても特別な利害関係を有していないため、一般株主との利益相反が生じる恐れはないと判断し、独立役員に指定しております。 同氏はサッポロビール㈱で代表取締役社長を務めた経験があり、企業経営に加え、営業、マーケティング、人材育成の豊富な経験および知見を有しています。これらの経験および知見に基づき、社外の立場から適切な助言・意見を述べるとともに、任意の指名委員会および報酬委員会の委員長としての役割も含め、経営の監督機能を適切に果たしていただいております。
3		桑山三恵子氏は、当社との間に、社外取締役の報酬以外、いかなる金銭等の取引もなく、当社経営陣との間においても特別な利害関係を有していないため、一般株主との利益相反が生じる恐れはないと判断し、独立役員に指定しております。 同氏は㈱資生堂でＣＳＲ部部長をはじめとした豊富な業務経験に加え、大学でＣＳＲ、経営倫理、ダイバーシティ経営などを専門分野とする研究者としての知見を有しています。これらの経験および知見に基づき、社外の立場から適切な助言・意見を述べるとともに、任意の指名委員会および報酬委員会の委員としての役割も含め、経営の監督機能を適切に果たしていただいております。
4	前原修身氏は、過去当社の業務執行者でありましたが、退職後39年が経過しております。	前原修身氏は、過去において当社に在籍した経験がありますが、退職後39年が経過しており、独立性に影響を及ぼすものではないと判断しております。また同氏は、当社との間に、社外取締役の報酬以外、いかなる金銭等の取引もなく、当社経営陣との間においても特別な利害関係を有していないため、一般株主との利益相反が生じる恐れはないと判断し、独立役員に指定しております。 同氏は日立工機㈱（現工機ホールディングス㈱）で代表取締役 取締役社長を務めた経験があり、企業経営に加え、M&Aを通じた事業拡大や販売子会社社長としての海外駐在などの豊富な経験および知見を有しています。これらの経験および知見に基づき、社外の立場から適切な助言・意見を述べるとともに、任意の指名委員会および報酬委員会の委員としての役割も含め、経営の監督機能を適切に果たしていただいております。
5	窪田隆一氏は、現在、当社の主要株主である富士通㈱の執行役員EVPを務めております。 当社は、同社との間に営業取引関係があり、その取引金額は2022年度において当社連結売上高の1%未満であります。	

6	井上彰氏は、2010年6月まで、当社の主要取引銀行の一つである㈱みずほ銀行の前身である㈱みずほコーポレート銀行の業務執行者でありました。なお、2022年度末時点の当社グループの同行からの借入金残高が連結総資産に占める割合は約4.9%であります。	井上彰氏は、当社の主要取引銀行の一つである㈱みずほ銀行の前身である㈱みずほコーポレート銀行の業務執行者でありましたが、退職後約13年が経過しており、現在は同行との間に特別な利害関係を有しておりません。なお、2022年度末時点の当社グループの同行からの借入金残高が連結総資産に占める割合は約4.9%ですが、借入総額に占める借入金比率は他に借入を行っている複数の金融機関と比較して突出しているわけではありません。また同氏は、当社との間に、社外監査役の報酬以外、いかなる金銭等の取引もなく、当社経営陣との間においても特別な利害関係を有していないため、一般株主との利益相反が生じる恐れはないと判断し、独立役員に指定しております。同氏は金融機関における豊富な業務経験に基づく高い見識と監査能力を有し、当社のコーポレート・ガバナンスの充実に寄与いただいております。
7	広瀬陽一氏は、当社の主要株主である富士通㈱の執行役員等を務めた後、2017年6月から同社の常勤監査役を務めております。当社は、同社との間に営業取引関係があり、その取引金額は2022年度において当社連結売上高の1%未満であります。	

4. 補足説明

- ※1 社外役員のうち、独立役員の資格を充たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。
- ※2 役員の属性についてのチェック項目

a. 上場会社又はその子会社の業務執行者

b. 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与（社外監査役の場合）

c. 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役

d. 上場会社の親会社の監査役（社外監査役の場合）

e. 上場会社の兄弟会社の業務執行者

f. 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者

g. 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者

h. 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家

i. 上場会社の主要株主（当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者）

j. 上場会社の取引先（f、g及びhのいずれにも該当しないもの）の業務執行者（本人のみ）

k. 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者（本人のみ）

l. 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者（本人のみ）
- 以上のa～lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることにご留意ください。
- ※3 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。
- ※4 a～lのいずれかに該当している場合には、その旨（概要）を記載してください。
- ※5 独立役員の選任理由を記載してください。